研究の概要と今年度の研究

研究員：江連　誠二
北広島市立西の里中学校

Ⅰ　研究主題について

未来をきり拓く力をつけた子どもの育成

Ⅱ　研究仮説

習得した知識や概念を活用しながら、自分の考えをまとめ、表現し、他者と交流する授業を展開することで、現代社会の課題に積極的にかかわり、未来をきり拓く力をつけることができる。

Ⅲ　今年度の研究について

４年次　現代社会の諸課題をどう解決していくか、実際に考えていく授業の展開

昨年度は、「学習した事柄を活用して自分の考えをまとめたり、表現したりする授業の展開」を重点とし、知識の「活用」にスポットを当てて研究に取り組んできた。

学習により得た知識は頭の中にあるだけでは活かされたとは言えず、何らかの形で外に出す（＝アウトプットする・表現する）ことで初めて有用なものとなると考えたからである。

そこで、４つの学習場面をモデルとして提案し、その中で自分の考えをまとめたり表現したりする活動を通し、学習した事柄の活用（＝アウトプット・表現）の仕方を身につけていくこととした。

今年度については、昨年度までの積み重ねを踏まえ、「知識の活用」を現代社会が抱えている諸課題に応用する実践に取り組んでいきたい。

研究に当たっては、以下の３点に留意して進めていくこととする。なお、歴史的分野については、過去の事象を取り扱うという分野の特性から、取り扱う学習内容が現代社会の諸課題に結びついていればよいこととし、必ずしも解決の方策を探る必要はないこととおさえる。

①中心的に扱う現代社会の諸課題は何か。
②その課題解決に必要な知識や技能は何か。
③その知識や技能をどのような学習活動で活用し、解決につなげるか。

今年度は研究の最終年度であるため、上の３点に加え昨年度までの研究の積み重ねを意識しながら、４月当初から計画的に取り組んでいくことが必要となる。

なお、昨年度の第二次研究協議会では、各自が考えた授業アイデアを小グループで交流する活動を行ったが、その時のアイデアの一部を以下に再掲する。各部会員の今年度研究を考える際のヒントにしていただきたい。

【取り上げる諸課題】	【授業アイデアや考えさせたいことなど】
公民：デフレと雇用の関係・・・	どうすればインフレ成長に持っていけるか。
地理：食糧問題・・・・・・・・・	ＴＰＰ・アメリカの食料生産・北海道で扱える
地理：資料の活用・・・・・・・・	レアメタル・鉱産資源
歴史：戦争・紛争・・・・・・・・	帝国主義・植民地→現代の経済問題につなげる。
歴史：日本の領土問題・・・・・	韓国・中国

１．部会員の活動

以上のことを踏まえ、今年度各部会員にはそれぞれの分野から現代社会の諸課題にあたる事柄を一つ取り上げ、それを解決するための方策を探る学習活動を展開していただくこととなる。

今年度は研究の最終年次であることから、昨年度までの研究の集大成であることをしっかりと意識した取り組みとしていただきたい。具体的には以下の二つのステップを踏まえたうえで今年度の研究に取り組んでもらうということである。

ＳＴＥＰ１：知識や概念を習得し定着するステップ

ＳＴＥＰ２：習得した知識や概念を使って、自分の考えをまとめたり、表現したりするステップ

第二次研究協議会で提出するレポートについては、指導案形式にこだわらないものとする。ただし、先ほどあげた３つの留意点がわかりやすくまとめられているレポートにしていただきたい。

なお、レポート形式については後日改めて提案する。

２．第二次研究協議会の授業について

第二次研究協議会の授業についても、部会員の活動同様、今年度の研究にあわせて「現代社会の諸課題をどう解決していくか、実際に考えていく授業」の公開をお願いしたい。

今年度の研究の特色から、公開する授業は課題解決の場面が適切と考えるが、各自単元構成を考える中で、それ以外の学習場面の公開がふさわしいと判断される場合は、その限りではない。

なお、指導案形式については、後日改めて提案する。